

○説明会での主なご意見・ご質問と回答 (※表中の番号は P.2 の図面に対応しています)

NO	ご意見	回答
①	小学校とこども園の連携が取れ、見た目は複雑だが建物内は分かりやすい。一方で、保健室は建物の中央寄りの方が良いのではないか。	保健室を含め、諸室配置の詳細は基本設計段階で改めて学校と協議しながら検討します。
②	解体・改築工事の期間中は、校庭や体育館が全く使えなくなる期間があるのか。	体育館は、工事期間中はそのまま使い、新校舎の完成後に解体します。校庭は、工事中は施工ヤードや仮設校舎・園舎としてその一部を使うため、体育館で活動することもあります。プールは、先行して解体するため、他の施設を利用する方向で調整していきます。
③	新 BOP は登録割合も人数も増えている。現状以上にスペースが必要であるため確保願う。	工事中や、校舎完成後も、新 BOP 利用児童が増えることを踏まえて設計を進めたいと考えます。
④	ゾーニング図に PTA 室がない。また、PTA 室専用の部屋としていただきたい。	地域学校会議室と名称が変わっていますが、PTA の方々が利用できる部屋を設けています。
⑤	百年庵を残すということだが、図面に名称を明記したほうが良い。また、当時トンネル門をくぐって学校に通っており、思い出が深い。玉石(玉石積み擁壁)を保存してほしい、全面ではなくても裏側から補強するなどして残せるのではないか。	図面の表記は「和室」としていますが、「百年庵」の名称は継承します。玉石は、検討会でも保存を求める意見がありましたが、条例により歩道上空地を整備するため後退が必要で、原位置では残すことができないため、ここに玉石があったことが分かるように工夫します。また、どのような形で残していくかは今後検討します。
⑥	工事のステップは検討していると思うが、授業等どのように考えているか。	工事車両の進入経路がないため、まずは幼稚園を解体して経路を確保し、校庭に仮設校舎を建て、西側校舎側を解体～改築して、新校舎の一部に児童・園児が先に入れるように想定しています。今後の設計の中で、工事期間中も教育環境が確保できるよう検討します。
⑦	どの程度、児童数の増加が見込まれているのか。基本構想検討時の A-1 案(※)でも良かったのではないか。(※当日配布資料(スライド) p 6 参照)	周辺の学校の状況や大蔵住宅の建替えを鑑みると、当面は増加が見込まれます。増築スペースの確保や校庭の松の保存の観点からも A-2 案をもとに基本構想をとりまとめました。
⑧	北側・東側の道路は歩道が広がっているようだが、擁壁を削って拡幅するのか。	区の条例等に基づいて、歩道を拡幅する計画としています。
⑨	災害避難所としてどの程度の収容を想定しているのか。	1 次開放で体育館、2 次開放・3 次開放で多目的室などを活用することを想定しています。なお、想定収容人数は 1,414 人とされています。(「地域防災計画」H29 年 資料編より)
⑩	工事費の規模はどの程度か。近年、土砂災害もあるので必要であれば予算を確保して対策を行ってほしい。	全体で約 62.1 億円、建物のみで約 40 億円、外構工事費は擁壁の工法によりますが 6 億円程度を想定しています。
⑪	百年桜の保存に拘って、工事を難しくするのは良くない。また、改築だよりの図面が分かりにくいので配慮いただきたい。	今後、図面などは分かりやすく伝わるよう配慮いたします。
⑫	工事は令和 5 年度から、最長で 8 年間の工事ということか。長い期間、児童がプレハブで過ごすことになるのか。	新校舎の工事完了後の外構工事を含めて、最長で 8 年間となる見込みです。事業者の提案も踏まえ、出来るだけ早く新校舎に移れるように検討します。
⑬	崖線を生かしたデザインは良い。トンネル門が暗いので、明るくなるよう工夫いただきたい。また、百年桜と並び、枝垂桜は地域が育てたものであり大事にしていきたい。	計画は構想段階のもので、具体的な内容は設計の中で検討します。枝垂桜については、樹木医の診断を踏まえ、保存の可否等を検討します。
⑭	改築だよりについて、説明会に参加しなくても理解できるよう分かりやすくしてほしい。また、屋上のプールについて、日射病に配慮して設計してほしい。	今回の説明会で配布した資料とともに、いただいたご意見や質疑回答を改築だより(※本紙)に掲載して、区の公式 HP 等で公開いたします。プールの日当たりについては、庇を設ける等の対策を計画しています。

砧小学校・砧幼稚園 改築だより 令和2年12月 第4号

世田谷区教育委員会事務局教育総務部教育環境課

砧小学校・砧幼稚園改築基本構想説明会を開催しました

日ごろより、世田谷区の教育行政及び砧小学校・砧幼稚園の運営にご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、改築だより(第3号)にてお知らせしました砧小学校・砧幼稚園改築基本構想説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底したうえで、令和2年11月13日(金)及び令和2年11月15日(日)に、砧小学校体育館にて開催いたしました。

会場では、改築基本構想の内容として校舎・園舎の配置・ゾーニング案、アンケートによる調査結果の概要、今後の改築スケジュール等についてご説明させていただきました。2日間で計35名の方にお越しいただき、様々なご意見・ご質問をいただきましたので、区からの回答を含めご報告いたします。

なお、説明会資料につきましては、下記の区のホームページに掲載しております。ご不明な点がございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

○改築基本構想のポイント(抜粋) (※表中の番号は P.2 の図面に対応しています)

NO	項目	内容・特色
①	出入り口・校門の改善	西側の旧世田谷通りから入れる、分かりやすい位置に正門を計画します。
②	児童数の増加への対応	団地建替等に伴う将来の児童の増加への対応を図れるようにするため、増築が可能なスペースを確保します。
③	地域開放の充実や向上	図書室は、地域開放を考慮して使いやすいうように1階に配置します。
④	小学校とこども園の複合化の利点の活用	児童と園児や関係者の交流が図れる動線を確保します。また、給食室は、安全衛生のため、調理や検収等は小学校とこども園で区画して別で行いますが、インフラを共用して効率化を図ります。
⑤	学校風景の伝承	トンネル門や玉石積み擁壁については、面影を伝えられるように工夫します。校庭の百年桜は現位置で保存し、松についても、できる限り保存に努めます。
⑥	地域団体等との連携	百年庵の名を引き継ぐ和室を新校舎に設けます。
⑦	周辺環境への配慮	体育館が既存の位置から西側に移るため、校庭からの防砂対策を施します。

<お問い合わせ先>

担当：教育委員会事務局教育総務部教育環境課教育環境担当 千田・高鳥

電話：03-5432-2665

所在地：〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

URL：

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kodomo/005/007/d00161577.html>

世田谷区ホームページ『砧小学校の改築状況』に、改築だより第3号(基本構想の概要)及び説明会での配布資料(スライド等)、アンケート調査の概要等を掲載中です。あわせてご覧ください。

